

【身に付けるべき能力の到達レベルを測る確認項目(簡易版)】

【評価方法】

1. 到達レベルを測る確認項目の各設問に対して、4段階で回答

- 当てはまる: 3点
- どちらかという当てはまる: 2点
- どちらかという当てはまらない: 1点
- 当てはまらない: 0点

(例)

- a.【取得管理】 得点7点 / 配点9点 = 得点率78% ⇒ Lv.3
- b.【安全確保】 得点10点 / 配点15点 = 得点率67% ⇒ Lv.3
- c.【他者・社会とのコラボ】 得点8点 / 配点18点 = 得点率44% ⇒ Lv.2
- d.【作成編集】 得点5点 / 配点12点 = 得点率42% ⇒ Lv.2
- e.【活用】 得点3点 / 配点12点 = 得点率25% ⇒ Lv.1

2. 5つの能力領域ごとまたは能力領域全体における各設問の得点を集計

3. 5つの能力領域ごとまたは全体の得点率を算出し、到達レベルを評価

- 得点率 0-29%: Lv.1
- 得点率 30-47%: Lv.2
- 得点率 48-80%: Lv.3
- 得点率 81-100%: Lv.4

【全体】 得点33点 / 配点66点 = 得点率50% ⇒ Lv.3

能力領域	能力番号	能力	設問番号	設問内容
a.【取得管理】 データや情報、デジタルコンテンツを検索、評価、管理する能力 (配点9点、3点×3問)	a-1	必要な情報を明確にし、検索結果の表示順の仕組みを理解した上で、オンライン上からデータ、情報、及びデジタルコンテンツを見つけ取得する	1	検索エンジンを用いた情報検索やオンライン上の文書内を検索する状況において、必要な情報を素早く見つけるために、どのような単語を使えばよいか知っている
	a-2	自分の好みの情報や自分と似た意見に触れやすくなるインターネットの特性を踏まえて、客観的に情報及び情報源の信頼性を分析し、比較し、批判的に評価する	2	オンラインで見つけた情報が信頼できるかどうか、批判的に確認できる
	a-3	データ、情報、デジタルコンテンツを保存、管理、整理する	3	フォルダやタグを使って文書、画像、動画などのデジタルコンテンツを整理し、後からすばやく見つける方法を知っている
b.【安全確保】 デジタル空間において安全を確保する能力 (配点15点、3点×5問)	b-1	商業目的で個人情報を利用されうることおよびそのリスクを理解した上で、デバイス、デジタルコンテンツ、個人情報、プライバシーを保護する	4	ソーシャルメディアを含むオンライン上で共有・表示するべきでない個人情報を理解している
	b-2	インターネット上の違法・有害情報や偽・誤情報のリスクを理解し対処する	5	インターネット上の情報の中には、フェイクニュースをはじめとして事実に基づかない嘘や偽のものが含まれることを知っている
	b-3	インターネット上での不適切な振舞いのリスクを理解し対処する	6	他者の写真を公開・共有する前に、その人の許可を得るべきであることを認識している
	b-4	身体的及び精神的な健康を保つ	7	デジタル機器の利用時間を管理する必要があることを認識している
	b-5	デジタル技術とその利用が自然環境に与える影響について理解する	8	自分のデバイスのエネルギー消費を減らす方法を知っている(例:設定の変更、アプリの終了、無線LANをオフにする等)
c.【他者・社会とのコラボ】 デジタル技術を通じて他者や社会と関わる能力 (配点18点、3点×6問)	c-1	デジタル技術を用いて他者と交流しコミュニケーションを取れる	9	状況に応じてどのコミュニケーションツールやサービス(電話、電子メール、ビデオ会議、テキストメッセージなど)を使うべきか知っている
	c-2	デジタル技術を活用して、他者と情報やコンテンツを共有できる	10	クラウドサービス(Google Drive、DropBox、OneDriveなど)を使ってファイルを共有する方法を知っている
	c-3	社会活動に有益なデジタルサービスやデジタルツールを利用できる	11	オンラインで購入した商品やサービスの支払い方法を知っている(例:銀行振り込み、クレジットカード/デビットカード、その他のオンライン決済システムを使用する)
	c-4	デジタルツールを利用して、他者とオンラインで繋がりながら作業できる	12	共有されたオンラインドキュメントを編集する方法を知っている
	c-5	デジタル空間でのコミュニケーションの特性を理解し、多様な背景・環境下にある人々に配慮できる	13	状況に応じてオンライン上でどのように振る舞うべきか知っている(例:フォーマルかインフォーマルか)
	c-6	デジタル空間における個人情報の対象やその重要性を理解し、適切に管理する	14	自分のデジタル・アイデンティティとは、オンライン環境において自分を特定するすべてのものであることを知っている(例:ユーザー名、ソーシャルメディア上の「いいね!」や投稿、オンラインで署名した請願書など)
d.【作成編集】 デジタルコンテンツの作成・編集に関する能力 (配点12点、3点×4問)	d-1	さまざまな形式のデジタルコンテンツを作成・編集し、自己表現できる	15	デジタルテキストファイル(例:Word、OpenDocument、Google Docs)の作成・編集方法を知っている
	d-2	既存の情報、コンテンツ、知識を他のものと組み合わせることで、新しい知識やコンテンツを生み出す	16	異なる種類のコンテンツ(例えばテキストと画像など)を組み合わせる新しいものを作る方法を知っている
	d-3	著作権やコンテンツの利用許諾等の各種法令の適用の重要性を意識する	17	見つけたデジタルコンテンツの著作権やライセンスに関するルールを守るように注意している
	d-4	コンピュータシステムが問題解決や作業を行うためのプログラム(指示命令)を作る	18	プログラミング言語(Python、Visual Basic、Javaなど)は、デジタル機器にタスクを実行するための命令を与えるために使われることを知っている
e.【活用】 デジタル技術の利用にあたっての課題解決やデジタルツールを用いた課題解決に関する能力 (配点12点、3点×4問)	e-1	自らのニーズに合わせてデジタルツールを調整しながら利用できる	19	最も一般的なデジタル機器(コンピュータ、タブレット、スマートフォン)の主な機能を知っている
	e-2	デジタル技術に関連するトラブルを特定し、解決する	20	デジタル機器がオンラインに接続できない理由をいくつか知っている(例:無線LANのパスワードが間違っている、機内モードがオンになっているなど)
	e-3	デジタル技術を活用して、身の回りの課題・社会課題を解決する	21	デジタル技術が業務プロセスや製品を革新するための強力なツールとして使用できることを知っている
	e-4	自分自身や周囲の人々のデジタルリテラシーを振り返り、能力の向上を目指す	22	デジタル世界の新しいトレンドについて知っており、それが私生活や仕事にどのような影響を与えるか理解している